



コロナ禍の受診控え、手術延期など影響

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、全国的に医療機関の経営難や人材不足が問題となっている。軽井沢の地域医療を支える総合病院として、軽井沢病院の現状はどうなのがか。

地域医療の充実には医療従事者の確保も重要なとなる。現在の常勤は医師が12名、看護師は59名で、人材確保の目標達成状況は「看護部は定員を満たしているが、医師はあと2名」と牧山尚也院長は話す。

軽井沢病院でも見られた。また8～9月に入院患者3人の感染が発覚し外来診療などをストップしたこともあり、収入は前年同期比（4月～10月末）約1億3千万円減。経営悪化が不安視されるが、篠原昭事務長は「すでに町から繰り入れ（財政支援）を受けているので、これ以上の支援を要請するのは難しい。病院としてできること、自分たちでできることをまずやる」と現場での対応を模索している。

部分的に訪問看護を再開

地域医療の充実には医療従事者の確保も重要な。現在の常勤は医師が12名、看護師は59名で、人材確保の目標達成状況は「看護部は定員を満たしているが、医師はあと2名」と牧山尚也院長は話す。

の声が度々あがる。同病院で整形外科医として29年間勤務してきた院長は、長期勤務があつてこそ町民からの信頼が高まると言う。「今後は内科医の常勤医を長期に勤めてもらいたい。そのためには医師にとってやりがいのある職場になることが必要」。

看護師の相次ぐ離職で、2019年5月に休止した訪問看護は、20年5月に常勤3名で部分的に再開した（休止前は6人体制）。21年3月から本格始動を予定している。

19年4月にスタートした総合診療外来は、20年8月末に常勤医1人が退職。この1、2年で他の診療科の常勤医の離職や大学との契約による医師の交代もあり、町民からは「担

2019年から働き方改革が順次施行され、24年には医師にも適用されることになる。厚労大臣在任中に医療や働き方改革に携わってきた小宮山洋子さん（軽井沢在住）は「医療現場で、人材は宝。医療従事者は争奪戦になつていて、それを肝に銘じてほしい。働く環境や待遇の改善に町も力を注ぐべき」と述べた。自身も医療現場の環境整備に尽力した経験から、町の取り組みに對し現場の想いを代弁した。

庁舎改築周辺整備事業、 委員会が基本方針を議論

軽井沢町は11月16日、庁舎改築周辺整備事業検討委員会（委員19人）を開いた。新型コロナ感染拡大の影響で会合が開けず、十分な議論が進んでいないことから、当初の予定から一年遅らせ、2027年5月の開庁を目指すスケジュールを確認。現庁舎を使用しながら、敷地内に新庁舎を建設。完成後に現庁舎を解体する方針が町から示された。

基本方針について、ある委員は新型コロナの影響で、働き方や住民サービスが変化していることに言及。窓口業務の縮小を見込み「柔軟なレイアウト変更に対応できる造りに」と

考えを示した。別の委員は、庁舎が国道18号からも見え、町のシンボルになることから、「建物だけではなく、景観、緑の配置も含めたメッセージを基本方針に含めるべき」と述べた。年度内にあと2回ほど会合を設け、基本方針を固める考えだ。



N E W S D I G E S T

■ ハイぶりっ子ちゃん、1日消防署長に

11月9日（119番の日）、長野県を応援するキャラクター「ハイぶりっ子ちゃん」が軽井沢消防署の1日署長に就任した。火災予防の重要性と消防活動への理解を地域住民に深めてもらおうと同署が企画。ハイぶりっ子ちゃんは放水体験や救命訓練などをした。軽井沢母親クラブのメンバー6人も1日消防署員として参加。消火器の使い方を学んだり、煙が充満した建物の



■ 軽井沢ライオンズクラブ、中学校へ本を寄贈

軽井沢ライオンズクラブは11月16日、軽井沢中学
校に109冊の本（10万円分の図書カード）を寄贈した。
会長の宮村千明さんと、幹事の安東克敏さんが図書館
を訪れ、寄贈した本に「軽井沢ライオンズ文庫」の判
を押印した。宮村会長は「文字に親しんでもらって、
知識を豊富にしてほしい」。軽井沢ライ
オンズクラブは2003
年から毎年、軽井沢
と御代田両中学にそ
れぞれ、本の寄贈を
続けている。



■ 軽高の学校薬剤師、高橋宏己さんに文科相賞

軽井沢高校の学校薬剤師、高橋宏己さん（高橋薬局）が「令和2年度学校保健及び学校安全表彰」（文部科学大臣賞）に選ばれた。1979年に同校の学校薬剤師に就任以来、41年間務め続けたことが評価された。新型コロナの感染拡大を防ぐため表彰式は行われず、同校の下井校長が11月19日に賞状を伝達。高橋さんは水道水の水質、教室の空気環境、照度を検査し、薬物に関する指導などで貢献してきた。「子どもたちに良い環境で勉強してもらえたと思う」と高橋さん。



■ 別荘回って戸締まり確認、防犯診断

軽井沢町別荘管理防犯組合と軽井沢警察署は11月24日から12月7日まで、別荘一斉防犯診断を行った。空き巣被害などの防止のため、組合員、署員のべ約290人が、戸締まりなどを確認しながら約12000軒の別荘を回った。初日の出発式で、同組合長の石川幸男さんは、「(新型コロナの影響で) 今年は別荘を利用しなかった人も多い。特に注意して見回りたい」と話していた。

初めてねこを
飼う方も安心

こねこの病院

2021年3月31日まで 開設中です

こねこに関する
悩み事

飼い方 予防接種
ペットフード グッズ
避妊 病気予防

今年の春や秋に生まれたこねこを一頭一頭、
予防計画を立てて丁寧にサポートします。

TEL 0267(32)6454
<http://www.asama-animal.jp>

R18
至小諸
御代田
しながわ町
here
至佐久
支道
至軽井沢
後木本通り

お知らせ

Instagramでは里親を探している
こねこの写真をアップしています!
ミルクボランティアも募集しています。
詳しくはHPをご覧ください。

HP Instagram

QRコード

QRコード